

[発行者]

株式会社ジェントルワーク

【本 社】東大阪市若草町7-9

【箕面店】箕面市稲2-2-36

店舗共通TEL: 072-200-2215

代表直通TEL: 090-5254-9170

[発行日] 2026年6月1日

地域の「家守り棟梁」になりたい社長が届ける...



# ジェントル通信

Vol.61

6月号

## めったにない贈り物

先日、お得意様の会社(築60年以上の工場)に現場調査に向かったところ、社長さんから

「うちも、もう長いから建物直さなあかんところばっかりやわ…。この前簡単に直してもらった屋上からまた雨漏りしだしたわー。」と言われ、

私はいつものように

「だから言っていましたやん！。応急処置だけじゃ直らないですよって。やっぱり全部しっかり治しましょうよお(笑)」

と、いつものやり取りをしながら屋上に向かいました。そもその原因である部分を再度確認しながら会話していると、いきなり後頭部に、「**ガシッ!**」という衝撃!

何が起こったのかわからず

「**イタっ。なにっ?**」と振り返ると、遠くで「カーカー」と3羽のカラスがこちらを見ていました。

犯人発見です(笑)

社長さん曰く

「ワシはもう白髪やから狙われへんけど、笠松君若いから狙われたんやわ。カラスは黒いもの狙うからなあ。ハハハハ(笑)」と、

「そんなことあります?(笑)この屋上が縄張りなんですかねえ?」

「そういえば、ワシしよっちゅうカラスを追い払う為に石ころ投げてんねん!」

「いや、それ完全に社長が怖がられてるだけですやん(笑)」

珍しい事もあるもんだと思い、人生で初めて

「カラスに頭を蹴られた」と検索してみました(笑)。

どうやら3月から7月頃まで繁殖期で、雛を守るため警戒心を高めているようです。

皆さんも気をつけてください。(ないことを祈ります(笑))

蹴られただけでは悔しいので、せめて何か良いことが起こるメッセージであってくれと意地になって調べていくと、「カラスは神の使い」で運氣上昇・転機の前兆を伝えてくれるとのこと。

きつとこれから先、良いことが起こるはず…。

いや、すでにこうしてジェントル通信のネタまで提供してくれているではありませんか!(笑)

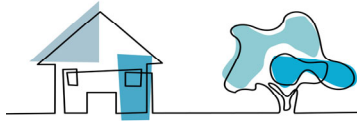
もうあのカラス達には会いたくはありませんが、こうして長くお付き合いいただけるお客様からのご依頼ですから、今後はヘルメット携帯必須で伺います!

因みに、最近ジェントル通信への感想や、応援の声などを沢山いただけて感謝しております。(ハガキで頂くことも)

皆様、いつもご購入ありがとうございます。



日々の仕事を  
アップしています



# 今月のお客様相談

～築40年 建て替え工事～

ご相談者は40代姉妹。現在親御さんと同居している家が、築40年を過ぎそろそろ建て替えを考えていると...相談を受けたのが3年前。2世帯住宅のような間取りが理想。

お互いのパーソナルスペースを確保しつつ、趣味にも没頭できる家。

それぞれの理想が膨らみすぎて、打ち合わせのたびに段々家が大きくなっていく。

当然見積額もかさみ、姉妹お2人でローンを組むため、中々踏ん切りがつかず...

打ち合わせ中は「家づくりはまるで夢物語」のようでしたが、打ち合わせが進んでいくと、悲しいかな「夢と現実の折り合い」をどうつけるかに焦点が絞られていきます。

そんな現実逃避もしたくなるような状況だからか、打ち合わせの半分くらいはお客様の世間話や趣味の話になって進まないこともあり(笑)、結局打ち合わせは約1年に及びました。

特に時間を使ったのが間取りの決定！

現実的な費用まで下げるために家を小さくしていきたい僕と

大容量の収納や趣味のお部屋などの理想が先行しがちで自然と家が大きくなってしまおうお客様との攻防戦。

最終的には僕が根負けし、お客様の満足のいく大きさと設計しました。

工務店的にはうれしいことかもしれませんが、30年後もしくは50年後のお客様の暮らしのことを考えると、将来後悔しないかが心配。

それというも「家が大きすぎる・小さすぎる問題」を今までたくさん目の当たりにしてきたからで、大きすぎる家の人曰く

「昔は親戚一同が集まって賑わっていたけど子供も出て行って帰ってけーへんし、今じゃあ大きすぎて掃除するだけで大変やわー」

少し小さめの家の人は曰く

「物の収納場所がない。もう少しでも家が大きかったらなあー。子供部屋が倉庫みたいになってるわー」

結局理想の間取りってなんなんでしょうか？

人はないものねだりするもの...。今に満足できないもの...

正解は人それぞれ違うと思うんですが、今回のお客様のように納得いくまで打ち合わせをし、

「今」後悔のない家づくりをする。そして年齢や生活環境が変わった未来にもう一度家を変化させるという事で良いのではないかと思います。

今の心に正直に生きて、今の幸せを重ねていく。

そんな生き方ができればいつの時代を切り取っても幸せなんじゃないかなと、今回のお客様をみて僕が感じたことです。

紆余曲折ありましたが、おかげさまでようやく今月、お客様のお家の着工が決まりました！

